

平成 28 年度 第 1 回部長・監督会議 議題

日 時：平成 28 年 1 月 30 日 9:30-

会 場：愛知県スポーツ会館 第 2 会議室

参加者：船津様（愛院大）、松岡様（中京大）、松本様（東海学園）、
高須様（名工大）、小谷様（四日市大）

【1】年次報告

1. 平成 27 年度（前年度）の会計収支報告について
2. 平成 28 年度（今年度）の会計予算案について

【2】前年度いただいたご意見に対しての今後の方針について

1. 交流会について
2. 学連の人員確保について
3. ミニリーグについて
4. 春大会のエントリー会について
5. 本戦の大会日程について
6. 審判要請について
7. 室内大会の会場について
8. 室内大会のボーラーについて
9. リーグの没収について
10. リーグの順位決定方法について
11. 新入生評価基準及び 1.5 倍制度について
12. ペナルティー制度について
13. ラッキーレーザーの選び方について

【3】今年度からの変更点について

1. 新進のドロー変更について
2. 審判講習会について
3. 審判の交通費について
4. セットボール販売価格の変更について
5. 1 部リーグの日程について

【4】質疑応答

【1】年次報告

1. 平成27年度（前年度）の会計収支報告について

→別紙参照

2. 平成28年度（今年度）の会計予算案について

→別紙参照

【2】前年度いただいたご意見に対しての今後の方針について

1. 交流会について

〈ご意見〉

- ① 開催時期を3月に変更してはどうか。（松岡様）

〈学連の提案〉

- ① 昨年度始めた交流会ですが、今年度は開催しないことと致しました。その代わりとして、今年度より高校に大会要項を送り、春大会、夏大会、1部リーグ戦、室内大会に高校生を招き、大学のテニスを知ってもらおうと思っております。

2. 学連の人員確保について

〈ご意見〉

- ① 学連の人数を増やすべきではないか。（小谷様、松岡様）

- ② 4県から平等に構成すべきではないか。（松岡様）

- ③ 各大学1人必ず出す方式、1年間で交代する方式などを試みてはどうか。（松岡様）

〈学連の提案〉

- ① 現2年生までは1学年8名程度でしたが、1学年12名程度が妥当と考え昨年度より改めました。今年度も同様の人数を要請する予定です。
- ② 学連の選出方法は、東海学生テニス連盟規約第4章第12条「委員はリーグ戦に於ける男女1、2部校より各1名ずつ及び他校より若干名選出するものとする。」と記載されており、これにのっとった形で平等に選出を行っております。
- ③ 学連の構成員は、人数が多ければことたりるという問題ではありません。それぞれに役職を与え、担当のタスクを管轄することで成り立っています。また、1年間の交代制という件ですが、2年生にはリーグ担当、3年生には各大会のレフェリー・ディレクター、4年生には重役幹事等、それぞれに役割が与えられているため到底実現可能に思えません。ご理解ください。

3. ミニリーグについて

〈ご意見〉

- ① 男女混合チームとはいかなるものか。(小谷様)
- ② チーム名に関して、大学名を主体とすべきではないか。(小谷様、松岡様)
- ③ 収益アップのために、サークルや同好会へ出場を呼び掛けてはどうか。(松岡様)

〈学連の提案〉

- ① 女子は部員の少ない大学が多く、1大学だけでは出場できない大学が数多く存在します。そのような懸念を払拭するために混合チームでも可能という措置をとっております。
- ② チーム名の文字数を 8 文字以内と制限します。今回、長すぎてドロウに収まりきらなかったチームがあるからです。しかし、大学名主体ということに関しては、開催コンセプトを他大学との交流やリーグ戦へ出場できない部員への団体戦出場機会の創出と銘打っているため、チーム名には議論の余地がなく好きなもので良いのではないかと考えます。文字数を制限したことで、奇抜なものにもできなくなると考えます。
- ③ 非常に面白い提案だと思っていますが、現実的に考えると団体登録費や個人登録費の問題もあります。また、これこそお遊びのテニスとなってしまいうでしょう。

4. 春大会のエントリー会について

〈ご意見〉

- ① 春大会のエントリー会を 3 月下旬ではなく、4 月上旬に行ってはどうか。(小谷様)

〈学連の提案〉

- ① 3 月下旬に行っても、4 月上旬に行っても、ほとんどの大学が仮入部すら始まっておらず、新 1 年生が出場できない問題は変わらないように思います。また、大会日程でほぼすべての土日が埋まっていることもあり、後ろにずらすことは困難を極めます。ご配慮ください。

5. 本戦の大会日程について

→別紙参照

〈ご意見〉

- ① 各大会の本戦を土日始まりにするべきではないか。(小谷様、松岡様)

〈学連の提案〉

- ① 新進、夏大会、チャレンジ、ミニリーグに関しましては考慮いたしました。春大会は岐阜メモリアルセンターの他大会との兼ね合いの問題、室内大会は最終日を日曜日にもっていきたいため、止む無く断念致しました。

6. 審判要請について

〈ご意見〉

- ① 大学の所在地に関係なく、平等に要請するべきではないか。(小谷様、松岡様)

〈学連の提案〉

- ① 今年度以降は、全大学から平等に呼ぶ予定です。しかし、審判要請の回数は、部員数に比例するよう考えられていますので、必然的に部員数の多い大学の人数が増えてしまうことはご承知ください。あくまで、平等に要請するよう配慮致しております。

7. 室内大会の会場について

〈ご意見〉

- ① 愛知県体育館ではなく、岐阜メモリアルセンターの A コートや東山テニスセンターの室内コートを使用してはどうか。(松岡様)

〈学連の提案〉

- ① 結論から申しますと、今年度以降も愛知県体育館を使用したいと考えております。一番に選手の寒さ対策の問題があります。さらに、金額面の問題も解決できています。毎年好評を博しているキッズテニスの参加者のアクセスを考えても、愛知県体育館が妥当なのではないかと考えます。

8. 室内大会のボーラーについて

〈ご意見〉

- ① 当該選手の大学からボーラーをつけてはどうか。(小谷様)

〈学連の提案〉

- ① 今年度より、室内に出場する選手の大学からボーラーとして必ず 2 名出してもらうように致します。各大学の負担軽減のため、このような措置をとらせていただきます。

9. リーグの没収について

→別紙参照

〈ご意見〉

- ① オーダー用紙の記入ミスによる没収は廃止すべきではないか。(小谷様)
- ② オーダー交換ミスの場合の没収は廃止すべきではないか。その代わりとして、ペナルティーを設けてはどうか。(松岡様)

〈学連の提案〉

- ① 今年度よりリーグのオーダー用紙の記入ミス(大学名、日付、氏名、部印など)では、王座の規約に合わせ没収はとらないことと致しました。また、王座に合わせ 2 部以下のオーダー用紙も 1 部のものと統一することに致しました。
- ② 没収試合規定を少々変更致しました。しかし、そのオーダー規約に反した場合は、例

年通り没収となります。わかりづらい部分や不明瞭な部分を排除し、上記のとおりオーダー用紙全般に関する没収を廃止しました。オーダー用紙の書き方がわからないという要望に応え、書き方の見本も作成しました。

10. リーグの順位決定方法について

〈ご意見〉

- ① 勝ち点と同じ場合は、勝ちポイント数で計算するのではなく、直接対決した方がいいのではないか。(松本様)

〈学連の提案〉

- ① 現状維持で問題ないと思われま。参考のために、リーグ戦注意事項を載せておきます。「3.順位決定 勝ち点と同じの場合は勝ちポイント数が多いものを上位とし、且つ勝ちポイント数と同じの場合は該当校の直接対決における勝敗によるものとする。尚、3校同率の場合は幹事会の決定に基づき原則として再試合を行うものとする。」

11. 新入生評価基準及び1.5倍制度について

〈ご意見〉

- ① 新入生評価基準を1つ繰り上げてはどうか。(小谷様)
- ② 新入生の1.5倍制度を前の制度に戻すべきではないか。(松岡様)

〈学連の提案〉

- ① 結論としては、おおかた現状維持で今年度も評価する予定です。参考として、現行の新入生評価基準は、以下のように設定されています。

本戦第4シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト2以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト4以上
本戦第8シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト4以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト8以上
本戦第16シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト8以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト16以上
本戦ストレートイン	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト16以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト32以上
予選上シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト32以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト64以上

- ・ 前年度の成績を考慮する。
- ・ 浪人生は評価の対象としない。(ただし、明らかな実力差があると判断した場合は幹事会の決定に基づき、評価を1つ繰り下げて適用するなどの対処を行う。)
- ・ 他地域からの編入生の場合、地域によってポイント差があるため、学連がその選手の成績を考慮してシードを付ける。

- ② 現行の制度は、東海学生ポイントランキング規定「5.(4)新規登録した1年生は、東海学生春季トーナメント大会および東海学生テニス選手権大会のうち初出場となる大会で得たポイント（ボーナスポイントを除く）を1.5倍とし、次大会の試合の組み合わせに反映されるものとする。」となっています。春大会、または夏大会のポイントを1.5倍し次の大会に反映させれば、十分上級生と渡り合えるポイントが得られると判断しております。よって、制度の変更は致しませんことをご理解ください。

1 2. ペナルティー制度について

〈ご意見〉

- ① 1回目を幹事長及びレフェリーから該当者及び主将への注意警告、2回目を該当者及び部長・監督への厳重注意と大会審判数の増加、3回目を試合出場没収としてはどうか。
(小谷様)

〈学連の提案〉

- ① 昨年度の警告は、審判に来なかった大学にとることがほとんどであり、制度を変更する必要はないと考えております。

1 3. ラッキールーザーの選び方について

〈ご意見〉

- ① ラッキールーザーを3人にするのではなく、試合当日、サインナップをした選手（予選F敗退選手、且つポイントを持っている選手）の中から抽選をしてはどうか。(松本様)

〈学連の提案〉

- ① 現状通り、「予選F敗退選手、且つポイントを持っている選手の中から、抽選し3人をラッキールーザー」とする。理由として最も大きいのは、やはり会場に来なければならぬ予選ファイナリストの人数が増大してしまうからです。

【3】今年度からの変更点について

まず初めに、【2】において今年度から変更となった点において、以下にまとめておく。

- ✓ 交流会の開催を中止する。
- ✓ ミニリーグにおけるチーム名を、8文字以内と制限する。
- ✓ 審判要請の対象大学を、全大学とする。
- ✓ 室内大会のボーラーは、出場選手の大学から必ず2名出すものとする。
- ✓ リーグ戦において、
 - I. オーダー規約の一部の項目を削除・改変する。
 - II. オーダー用紙の記入ミスによる没収を廃止する。
 - III. 2部以下のオーダー用紙を1部のものと統一する。
- ✓ 新入生評価基準について、浪人生でも明らかな実力差があると判断した場合は幹事会の決定に基づき、評価を1つ繰り下げて適用するなどの対処を行う。

1. 新進のドロー変更について

→別紙参照

- ✓ 新進本戦のドロー数を、以下のように変更致します。

本戦	男子シングルス	64	→	48	ドロー		女子シングルス	64	→	32	ドロー
	男子ダブルス	32	→	24	ドロー		女子ダブルス	32	→	16	ドロー
- ✓ また、それに伴いまして新進予選のクオリファイ数を、以下のように変更致します。

予選	男子シングルス	Q32	(現状維持)		女子シングルス	Q16	→	Q8
	男子ダブルス	Q16	(現状維持)		女子ダブルス	Q8	→	Q4

2. 審判講習会について

- ✓ 今年度より、全新入生を対象とした審判講習会を毎年開催することと致します。

3. 審判の交通費について

- ✓ 昨年度、審判の交通費の支給を廃止しましたが、今年度より一律1000円支給致します。

4. セットボール販売価格の変更について

- ✓ 昨年度までは1箱3000円、2箱5000円で販売しておりましたが、今年度より1箱2000円、2箱3000円にて販売することと致します。

5. 1部リーグの日程について

- ✓ 昨年度は男女同一日程にて行いましたが、今年度より一昨年同様、男女別日程の10日間（予備日を含めず）で行うことと致します。

【4】 質疑応答

何か質問・疑問等ありましたら、お気軽に申し付けください。

Memo